

美幌町における景気動向調査報告書

＜ 第 I 四半期 ＞

美幌商工会議所

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

- (1) 調査時点 平成30年4月
 (2) 調査対象期間 平成30年1月～3月期実績及び4月～6月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

(1) 景気動向調査

会員事業所の中から小売業、サービス業、製造業、建設業、卸売業の5業種100事業所に対しアンケート方式により調査した。

- 本調査結果中の「D・I」とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差引いた値を示す。

業種別D I

業況(%)	今期(2018年1月～3月)の実績 (前期比)				2018年4月～6月の見通し (今期比)			
	好転	不変	悪化	D I 値	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	0.0	48.1	51.9	-51.9	25.9	51.9	22.2	+ 3.7
小売業	0.0	60.0	40.0	-40.0	0.0	60.0	40.0	-40.0
建設業	0.0	22.2	77.8	-77.8	44.5	33.3	22.2	+22.3
製造業	0.0	57.1	42.9	-42.9	14.3	57.1	28.6	-14.3
サービス業	0.0	100.0	0.0	±0.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸売業	0.0	0.0	100	-100	100.0	0.0	0.0	+ 100

売上高(%)	今期(2017年1月～3月)の実績 (前期比)				2017年4月～6月の見通し (今期比)			
	増加	不変	減少	D I 値	増加	不変	減少	D I 値
全業種	0.0	37.1	62.9	-62.9	25.9	48.2	25.9	± 0.0
小売業	0.0	40.0	60.0	-60.0	0.0	40.0	60.0	-60.0
建設業	0.0	22.2	77.8	-77.8	44.5	33.3	22.2	+22.3
製造業	0.0	42.9	57.1	-57.1	14.3	57.1	28.6	-14.3
サービス業	0.0	75.0	25.0	-25.0	0.0	75.0	25.0	-25.0
卸売業	0.0	0.0	100	-100	100.0	0.0	0.0	+ 100

※ 建設業は「完成工事高」、製造業は「生産高」を表す。

在庫水準 (%)	今期（2018年1月～3月）の実績 （前期比）			
	過大	不変	不足	D I 値
全業種	0.0	64.3	35.7	-35.7
小売業	0.0	60.0	40.0	-40.0
建設業	-	-	-	-
製造業	0.0	57.1	42.9	-42.9
サービス業	-	-	-	-
卸売業	0.0	100.0	0.0	±0.0

採算 (%)	今期（2018年1月～3月）の実績 （前期比）			
	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	0.0	44.4	55.6	-55.6
小売業	0.0	40.0	60.0	-60.0
建設業	0.0	42.9	57.1	-57.1
製造業	0.0	57.1	42.9	-42.9
サービス業	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸売業	0.0	0.0	100	-100

資金繰り (%)	今期（2018年1月～3月）の実績 （前期比）				2018年4月～6月の見通し （今期比）			
	好転	不変	悪化	D I 値	好転	不変	悪化	D I 値
全業種	3.8	48.1	48.1	-44.3	11.1	55.6	33.3	-22.2
小売業	0.0	40.0	60.0	-60.0	0.0	20.0	80.0	-80.0
建設業	0.0	42.9	57.1	-57.1	22.2	55.6	22.2	± 0.0
製造業	0.0	57.1	42.9	-42.9	14.3	42.9	42.8	-28.5
サービス業	25.0	75.0	0.0	+25.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0
卸売業	0.0	50.0	50.0	-50.0	0.0	100.0	0.0	± 0.0

Ⅱ. 概 況 《 全 体 の 動 き 》

平成30年I四半期（1月～3月）の美幌町における業況は、全業種で見ると前年同期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が51.9、「好転」から「悪化」を差引いたD・I値は△51.9となっており、来期（4月～6月）業況の見通しを全業種で見ると「好転する」と答えた企業割合が25.9、「悪化する」と答えた企業割合が22.2であり、D・I値+3.7となっており、今期と比較し55.6ポイント改善するようです。

※ 今期の経営上の問題点としては「人手不足」との回答が増えており「建築板金工」「美容師」「鉄骨工」の人材不足、飲食業でも人手不足との回答がありました。

また、建設業界では「工事量の減少」の影響があり、特に「冬期間の工事量減少」の影響が大きく今回のD・I値でもマイナスの大きな要因となっているようです。

< 業 種 別 の 動 き >

1) 小 売 業 売 上 高 前期比で「増加した」と答えた企業割合が0、「減少した」と答えた企業割合が60.0、D・I値△60.0となっており、来期の見通しをみると今期同様に「増加する」と答えた企業割合が0、「減少する」と答えた企業割合が60.0、D・I値△60.0となっており、来期の売り上げについても今季同様に厳しい状況が続くと予測しています。

資 金 繰 り 前期比で「好転した」と答えた企業割合は0、「悪化した」と答えた企業割合が60.0、D・I値△60.0、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が80.0、D・I値△80.0となっており、来期についても売上の増加が見込めない中、資金繰りについても依然として厳しい状況であると予測しています。

2) 建 設 業 完 成 工 事 高 前期比で「増加した」と答えた企業割合は0、「減少した」と答えた企業割合が77.8、D・I値は△77.8、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が44.5、「減少する」と答えた企業割合が22.2、D・I値+22.3となっており、工事量の増加に明るい兆しが見えてきているようです。

資 金 繰 り 前期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が57.1、D・I値△57.1。来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合と「悪化する」と答えた企業割合が共に22.2、D・I値±0となっており、工事量の増加が見込まれる中、資金繰りは依然として厳しい状況であると予測しているようです。

3) 製造業 生産高

前期比で「増加した」と答えた企業割合は0、「減少した」と答えた企業割合は57.1、D・I値△57.1、来期の見通しをみると「増加する」と答えた企業割合が14.3、「減少する」と答えた企業割合が28.6、D・I値△14.3となっており、来期については生産高の増加に多少ではありますが明るい兆しが見えてきているようです。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が42.9、D・I値△42.9、来期の見通しをみると「好転する」と答えた企業割合が14.3、「悪化する」と答えた企業割合が42.8、D・I値△28.5となっており、今期と比較して生産高の多少の増加が見込まれますが、資金繰りは依然として厳しい状況であると予測されています。

4) サービス業 売上高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が.0、「減少した」と答えた企業割合が25.0、D・I値△25.0、来期の見通しも「好転する」と答えた企業割合が0、「悪化する」と答えた企業割合が25.0、D・I値△25.0であり、売り上げの増加は見込めない状況であると予測されています。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が25.0、「悪化した」と答えた企業割合が0、D・I値+25.0、来期の見通しは「不変」と答えた企業割合が100となっており、D・I値±0.0であり、資金繰りについては安定すると予測しています。

5) 卸売業 売上高

前期比で「増加した」と答えた企業割合が0、「減少した」と答えた企業割合が100であり、D・I値△100、来期の見通しは「増加する」と答えた企業割合が100、「減少する」と答えた企業割合が0、D・I値+100であり、来期については売上高の増加について明るい兆しが見えてきているようです。

資金繰り

前期比で「好転した」と答えた企業割合が0、「悪化した」と答えた企業割合が50、D・I値△50、来期の見通しは「不変」と答えた企業割合が100となっており、D・I値±0.0であり、資金繰りについては大きく改善される見通しは無いと予測されています。

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
小 売 業	得意先の減少	同業者間の競合／人件費増			
建 設 業	人材不足	人件費増			
製 造 業	人材不足	諸経費の増／得意先の減少		同業者間の競合／人件費増	
サービ業	人材不足				
卸 売 業	得意先の減少				